

# LOJ

夏期学生向け

## 英語 合宿集中講座

SUMMER INTENSIVE  
RESIDENTIAL ENGLISH PROGRAM



LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

## 目的

当講座は英語オンリーの環境に身を投じることにより、すでに覚えた、「読む」「書く」中心の英語力を「聴く」「話す」中心のプラクティカルな英語力に磨きあげて、その「実用化」を図ると同時に、授業・生活を通して様々な考え方の違い、表現方法の違いなど外国文化に対する理解と適応力を養い、英語によるコミュニケーション能力の総合的な向上をめざすものです。

現在の自分の学習方法に疑問を抱いたり、マンネリを感じている方、英語を生かした就職や海外留学を希望している方など総合的な英語力のレベルアップを真剣に望んでいる方々に新しい感覚で生きた英語を見直す、最適な実践の場を提供します。

## 特色

### ①合宿制による集中教育(English-Only)

期間中は日本語を一切禁止し、授業はもとより、食事、課外活動など生活のすべてを英語のみで行うという、語学教育にとって理想的な Total Immersion 方式を採用し、合宿生活を通して自然なコミュニケーション能力を養います。

### ②高い質を誇る専任教師陣

LIOJでは年間500名に及ぶ海外からの応募者を厳選なる書類選考の後、毎年校長が自らアメリカ・カナダに渡り、直接面接を行った上で4～7名を選びます。英語を第二言語として教える学位(E.S.L.)を修得した経験豊富なエキスパートを中心に、さまざまな分野から、人格、能力ともに最もすぐれた人材を全員フルタイム教師として採用しています。

### ③能力別少人数教育

受講生は、開講時に行われる、インタビュー・筆記テスト・リスニングテストにより、能力別に3クラスに分けられます。1クラスは8名前後で編成されており、各クラスは2名の担当教師により、きめの細かい個別指導が行われます。

### ④独自の教授法(ユニークな授業)

長年の実績と経験を活かした、さまざまな効果的教授法を駆使し、単に一冊のテキストを一貫して使うのではなく、あらゆる教材の中から、各人の能力や毎日変化するクラスの状況に応じた題材を選び、またVTR、L.L.等を盛り込んだ授業を通して、常に最高の指導が行われます。

### ⑤CULTURAL INTERACTION

外国人教師やタイから招へいされた奨学生と、英語を共通言語とした合宿生活を通して、異なる文化・習慣への理解を深めます。



Derald H. Nielson  
Director

LIOJ has been offering its English-only intensive language program for the past 18 years. Our program has evolved as the needs of our students have changed and as the field of language teaching has matured. We feel that using language for genuine communication is the most effective way to learn to communicate in a new language. For this reason, LIOJ goes beyond a linguistically based curriculum by putting emphasis on experiential learning: learning by doing.

English continues to be an important means of communication for business and academic pursuits throughout the world. The program at LIOJ emphasizes communication and learning that is suited to the expected needs of our students. The residential program offers the opportunity to have both an intensive classroom experience and social contact with the faculty. The three week length of the program allows time for real person-to-person interaction to develop between the students and the faculty, and among the students themselves.

LIOJ continues to be a school where the pursuit of excellence is our main goal. It is our aim to offer the best program we can.

## LIOJ (LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN)

日本で初めて全寮制による英語集中教育方式 (Total Immersion) を本格的に採用した語学教育研究機関として昭和43年3月に設立。短期間で生きた英語の習得と異文化理解を深め、国籍を越えた真のヒューマンリレーションとコミュニケーションマネジメントを体得していただくため、「英語オンリー」の徹底した生活学習環境を設定して、独自の研究開発をすすめています。また、語学教育と異文化コミュニケーションの機関誌の発行、新しい教材の製作や教授法の開発、東南アジア諸国からの奨学生の招へいなど、日本の語学教育の発展と国際文化交流に寄与しています。

### 主な講座内容

- 企業人向け〈合宿〉英語特訓課程  
(4週間・年11回)
- 英語教育者のためのサマーワークショップ  
(1週間)
- 夏期学生向け〈合宿〉英語集中講座  
(3週間・夏期2回)
- コミュニティーコース  
(春夏秋冬・各10週間)



LIOJで開発されたテキスト



# LIOJ

## CURRICULUM

本講座では、総合的な英語力の向上に不可欠な、MICRO、MACROの2つの異なる観点から、効果的に授業が進められます。

また、教師の構成に際しては、男女をほぼ同数にするほか、クラス担当以外の教師とも数多く接触していただけるよう、受講者と教師の人数比率を3対1にするなど、ほかでは見られない理想的な指導体制が敷かれています。

### 〔概要〕

- 3週間合宿(19泊20日)
- 夏期2回開講
- 定員25名
- 能力別3クラス編成
- 1クラス定員7～9名

## MACRO ENGLISH

実践的な英語力を養うためには、全体の内容を把握する能力・論理的に理解する能力・広範囲な状況下にも対応し得る会話能力を開発することが必要となります。

プレゼンテーション、ショートスピーチ、要約、映画、ディクテーション、テープ、VTR等を盛り込んだ授業では、センテンスレベルによる正確な理解・表現にとらわれず、異なる視点から、断続的な理解を関連づけての全体内容の把握への導入、聞き手に理解しやすい、端的な自己の意志の表現・伝達能力の修得を図り、実際に則した状況での対応力・理解力を養います。



## MEAL TIME

合宿生活の中でも特に大きなウェイトをしめるのが毎日の食事時間です。食堂では教師を囲んで4～6名ずつが1つのテーブルについて食事をとります。ここではクラスを離れたリラックスした雰囲気の中で自由な会話を楽しんだり、日本各地から参加している一流企業のビジネスマンの諸先輩からの貴重な経験談に耳を傾けたり、LIOJならではの素晴らしい会話環境がアレンジされます。



# 効果的なカリキュラムと充実した生活“習うより慣れろ”

## Daily Schedule

8:00~8:30	Breakfast
8:30~12:00	MACRO ENGLISH
12:00~13:00	Lunch with instructors, Free conversation
13:00~14:30	MICRO ENGLISH
15:30~17:00	
17:00~18:00	Review and Preparation time
18:00~19:00	Dinner with instructors, Free conversation
19:00~20:30	Evening Programs: Formal and informal meetings on most weekdays
20:30~	Free time, Class preparation time

## MICRO ENGLISH

過去の英語学習で得た基礎知識のより効果的な活用法を体得し、センテンスレベルで、内容を正確に把握する能力・的確に表現する能力を養います。

視覚教材、テープ、L.L.、テキスト等、受講生の興味を引く教材を活用した授業では、英会話に重要な、聴解力、文法、発音、Fluency等に関してより正確であることが要求され、細部に渡って誤りの訂正等、厳しい指導が行われます。



## WEEKEND PROGRAMS

土曜の午前中には、第一週にスポーツプログラムとして水泳やソフトボール等が企画され、第二週はクラス単位でのプロジェクトの企画・製作に充てられます。

週末のリラックスした雰囲気の中で受講生同士、意見交換をし、一つの目的を達成することにより、互いに親睦を深め、日頃のクラスの成果を十分に発揮していただきます。

これらのプログラム以外、週末はすべて自由時間となり、教室やL.L.施設、VTR等も開放されておりますので、受講生はこの時間を予習・復習に充てたり、またリフレッシュの時間とするなど各自自由に過ごせます。

さらに週末を利用して、受講生同士でアウトイングを計画して教師を招いたり、授業時間で得ることのできない充実した時間を過ごすこともできます。



## EVENING PROGRAMS

LIOJでの合宿生活をより充実させるために、受講生は規定授業以外にもさまざまなプログラムに参加します。クラスを離れたリラックスした会話環境のなかで、授業で得たものを最大限に活かす実践の場を提供します。プログラムは各回若干異なりますが、以下に挙げたような多彩な企画が実施され、LIOJならではの、まさにインテンシブな3週間となります。



### Parties and Social Activities

「Introductions」「Happy Hour」「Tea & Talk」「Slide Show」などが各週企画されます。ここでは教師と受講生という関係はなれ、一個人として接することにより、外国人とのコミュニケーションをよりスムーズにする能力を体得し、自信と相互理解を深めるほか、他のクラスの教師、受講生との自由なコミュニケーションの場としても活用されます。

### Special Lectures and Free Discussion

LIOJまたは外部の講師による特別講演やインフォーマルなフリーディスカッションのプログラムで、毎週1~2回行われます。テーマは国際関係論や異文化コミュニケーションなど興味深い題材をグローバルな視点で探っていきます。

### Special Interest Groups

受講生の興味に合った題材を選び、長所を伸ばし弱点を補強するため、教師が個人およびグループに対してコンサルティングやアドバイスをを行うプログラムです。(Composition, Creative Writing, Movie, Drama etc.)

### Self-Study Time

受講生に自由に開放されているLIOJラウンジのVTRを利用してのテーマ研究、L.L.装置を使っての自己反復練習など、教師から与えられたアサインメントに取り組んだり、研究発表の準備をしたり、各自で自主的に学習する時間です。

## OTHER ACTIVITIES

受講者には、規定授業と課外活動以外の時間をどう充実させるか自分自身で考えてオーガナイズしていくことが義務づけられます。これは、受け身の姿勢でない主体性をもった自発的な考えを“英語で”計画・実行することで、英語社会の中で生きる上に不可欠な“自立心・独立心”を養うためです。

LIOJはそうした受講者の自主活動が120%充実したものとなるよう期待いたします。





## 推薦のことは

### ●日本語より英語の方がとっさに出る人も…

英語をいっそう集中的に学習する方法として、英語国民と数週間合宿する方法がある。その例は、小田原のLanguage Institute of Japan (LIOJ) に見られる。LIOJはアメリカ人の校長の下で若いアメリカ人が十数人先生になっていて、そこに日本人研修生が数十人いっしょに朝から晩まで英語だけで話をする。食事のときも読書についても英語で話し合う。教室ではもちろん英語である。(中略)LIOJに参加して二週間ぐらい集中教育を受けると、人によっては日本語が簡単に出なくて、英語の方がとっさに出るようになる。それが一つの峠を越えた証拠だろうと思う。



西山 千

(国際コミュニケーター)

著書「英語のでこぼこ道」より抜粋。(サイマル出版会)

## 受講生の声



沢井 瑞穂  
(埼玉大学)

私はLIOJの合宿講座に参加して、英語はそれ自体が目標でなく、ある目標を達成するための一つの手段であることを強く感じました。3週間英語だけで過ごすことは、たやすいことではありません。“相手にうまく自分の気持ちを伝えられなかったり、誤解が生じてしまったり”でも、それを越えて“どうしても理解してもらいたい”という気持は、学ぼうという意欲をより大きいものにするのだと思います。今回はタイから来た2人の学生と過ごしたわけですが、これは共通言語の必要性をますます大きなものにし、また物の考え方の違い、文化の違いを知って、自分の国を客観的に見ることを可能にしたように思います。

ほんの軽い気持で参加しましたが、その結果は、今まで外国人と話す機会がほとんどなかった私にとって、あらゆる面で予想以上に充実した内容でした。

人数豊富な外人教師を囲んでの食事時では、気軽に話しかけられたり、又、私のpoorな英語に真剣に耳を傾けていただいたり、なごやかなムードの中で真のコミュニケーションを図り、少人数制の授業は内容も濃く、少しきつく感じたこともありましたが楽しく全日程を終えることができました。何よりも嬉しかったのは、生徒数が少ないので先生方が早く名前を覚えて下さったことです。おかげで外人コンプレックスの克服に役立ち、英語を口にする練習になりました。

3週間たってLIOJを去るとき、きっと「来年また来よう!」という気持になるはずです。



三浦 聖子  
(広島女学院)

## 受講資格

高校卒業程度の基礎英語力を持つ18才以上の方で、英語の習得をまじめに考え、3週間の合宿生活に耐えうる心身ともに健康な方。



## 場所および施設

LIOJは小田原市郊外の高台にそびえるアジアセンター内に設置されています。アジアセンターは国際会議場・企業の教育研修場として多くの方々にご利用いただいている地上5階地下2階の建物で箱根山を背に相模湾に面し、大島、伊豆、房総半島などを一望におさめる景勝の地にあります。冷暖房を完備した200名の宿泊施設のほか、会議室、映写設備も備えております。宿泊室はすべて洋室(バス・トイレ付3～6名の相部屋)であるほかLIOJ専用の教室、食堂、ラウンジ、図書室等、期間中受講者の方になるべく海外生活に近い雰囲気の中で受講していただけるよう配慮されております。

またL.L.システム、VTR装置、各種スポーツ用具の無料貸出し、コインランドリー等充実した設備が用意されております。

- 交通の便
- |      |                   |
|------|-------------------|
| 新幹線  | 小田原駅下車 駅からタクシーで5分 |
| 東海道線 |                   |
| 小田急線 |                   |
- 東京駅から新幹線こだまで 42分
  - 新宿駅から小田急ロマンスカーで 70分
  - 名古屋駅から新幹線こだまで 2時間10分

## LIOJ LANGUAGE INSTITUTE OF JAPAN

(日本外語教育研究所)

ASIA CENTER, 4-14-1 SHIROYAMA, ODAWARA,  
KANAGAWA 250 JAPAN

〒250 神奈川県小田原市城山4-14-1 アジアセンター

TEL: 0465-23-1677